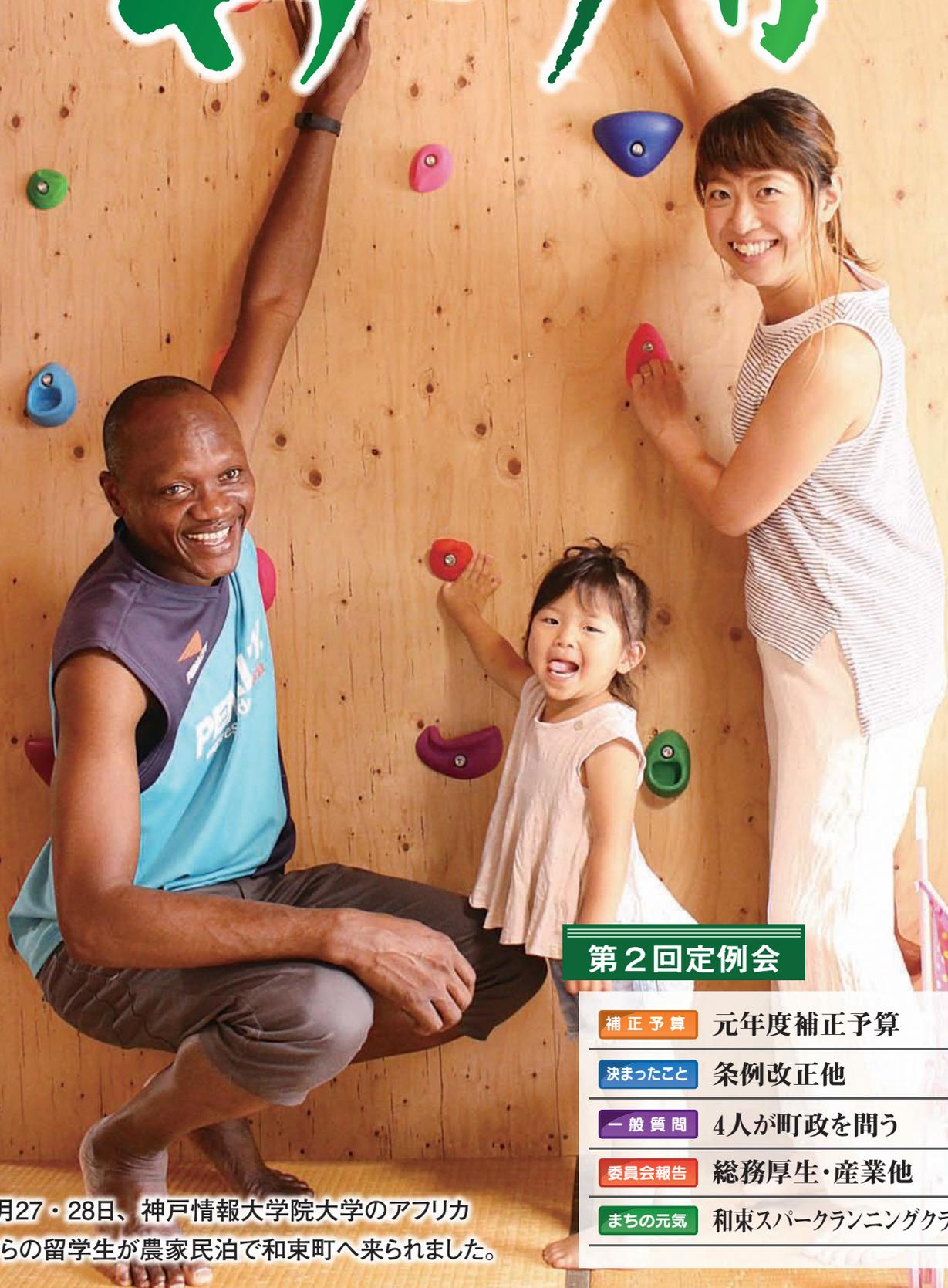


あごが



第2回定例会

補正予算 元年度補正予算 >>> P.2

決まったこと 条例改正他 >>> P.4

一般質問 4人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.10

まちの元気 和東スパークランニングクラブ >>> P.12

7月27・28日、神戸情報大学院大学のアフリカからの留学生が農家民泊で和東町へ来られました。

令和元年度
補正予算

観光・地域交流、移住支援に力点も 事業効果、環境整備になお課題

【補正予算の主な事業】

- ふるさとイベント誘客
促進事業 150万円
- 湯船森林公園イベント事業
100万円
- わくわく地方生活実現移住
支援金 200万円
- 晩霜被害茶園対策助成
120万円
- WMG市町村実施計画作成
700万円
- プレミアム商品券補助金
2067万5000円
- 消火栓ボックス等備品購入
102万円

補正予算では、イベント事業や移住支援等を内容とした地方創生関連事業、2年後に開催予定のワールドマスターズゲームズ(WMG)実施計画作成委託、プレミアム商品券補助金、消火栓ボックス等備品購入等が計上されました。

別所地内の町道の工事請負契約を可決、承認し、来年3月末までの復旧予定で工事が始まります。

晩霜被害対策に 120万円計上

また5月の遅霜による被害を受け、茶園の害虫防除費用への補助も予算化されました。

別所地内の道路 災害復旧へ

第2回定例議会を6月13日から20日まで開会し、町長提出の令和元年度補正予算、平成30年度補正予算(専決)、4件の条例改正等を審議。議員発議では、4件の意見書が提案されました。

審議、採決の結果、町長提出議案は全て可決し、議員発議の意見書は、2件を可決し、2件を否決しました。



別所地内の地すべり箇所

補正予算関連

主な質疑

問 晩霜被害茶園対策助成の内容は。

答 被害茶園のダニ防除費用として防除剤1本当り6000円を交付する。

問 経費への直接補助、資金支援などの対策は。

答 追加的な対策はないが、収入保険への加入を推奨したい。

問 わくわく地方生活実現移住支援金とは。

答 東京一極集中是正、地方の担い手不足解消へ、企業や企業就業者を受入れる支

援策。移住で2人以上世帯の場合は100万円支給する。東京圏の人口密集地からの移住のみを対象としている。

問 ふるさとイベント誘客促進事業とは。

答 近隣市町村への転出者を対象にイベントを実施しUターン等につなげるもの。

問 外国人への多言語での災害情報の周知の現状は。

答 多言語の対応は出来ていない。多言語での避難所への誘導看板は検討中。

問 観光バスの高橋バス停付近での駐停車規制や危険防止の周知は

答 駐停車禁止は法上も困難。町ホームページでの誘導、バス停付近に看板の設置はする予定。

問 プレミアム商品券の対象は。

答 対象は非課税世帯や子育て世帯になる。

問 消火栓ボックス購入の内容は。

答 消火栓ボックス33本や組立て式水槽など。

問 観光客マナー案内リーフレット作成の内容は。

答 マナーが問題化しており日本語と英語を表記したものを2万部作成する。

問 ワールドマスターズゲームズ開催にむけた取組は。

答 府の実施計画に基づき、本町も実行委員会を立ち上げ、意見を聞きながら実施計画を策定していく。



ワールドマスターズゲームズ開催予定地

議会だより わづかNO.176号のお詫びと訂正



NO.176号14ページ

“まちの“元気”を訪ねて”のコーナーで、2問目のAの3行目の「活性化センター等の協力を」は、「雇用促進協議会の協力を」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

可決した 条例等

介護保険条例の 改正

保険料の軽減措置を拡充しました。

・第1段階

3万3480円

↓2万7900円

・第2段階

4万8360円

↓4万6500円

・第3段階

5万5800円

↓5万3940円

湯船マウンテンバ イクランドの指定 管理者の指定につ いて

管理者に株式会

社湯船を指定

投票管理者等の報 酬及び費用弁償に 関する条例の改正

報酬の引き上げ

京都地方税機構規 約の変更

固定資産税に係

る申告等の受付の
事務を追加

和東運動公園条例 の改正

管理者の規定及
び管理内容を明確
にするため

ふれあい工房（テ ラス和豆香）の設 置及び管理に関す る条例の改正

指定管理者の規
定の追加

町道白栖別所線の 災害復旧工事の契 約締結

・場所 別所地内

・金額 6291万円

・契約相手

山口・吉村特定

建設工事共同企業

・工期

令和元年6月21

日から令和2年3

月20日

意見書

第2回定例会（6月）に次のとおり意見書が提出され①・②の意見書は所管大臣等に送付しました。

①新たな過疎対策法の制定に関する意見書
提出者 総務厚生常任委員長 岡田泰正 議員
賛成者 全員

②下水道施設の改築に係る国庫補助の継続を求める意見書
提出者 産業常任委員長 吉田哲也 議員
賛成者 8人
反対者 1人

③全国一律の最低賃金制度の創設を求める意見書
提出者 岡本正意 議員
賛成者 3人
反対者 6人

④消費税増税の10月実施の中止を求める意見書
提出者 岡本正意 議員
賛成者 3人
反対者 6人

令和元年第2回定例会(6月)に、提出された議案のうち、賛否がわかれたもの。

各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	
可決	本	京都地方税機構規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
可決	本	下水道施設の改築に係る国庫補助の継続を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
否決	本	全国一律の最低賃金制度の創設を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-
否決	本	消費税増税の10月実施の中止を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。
小西啓議長は本会議の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

6月13日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

① 高山豊彦議員 (6ページ)

1. 安全・安心な防災計画を
2. 充実した交通政策が必要では
3. 観光客等への安全対策を
4. ごみ収集対策を

② 岡本正意議員 (7ページ)

1. 10月からの消費税増税に反対を
2. 水道料金値上げの中止を
3. 子育て支援の充実を
4. 加齢性難聴者の補聴器購入への補助を

③ 岡田 勇議員 (8ページ)

1. 元号も令和に変わり町長の今後の考えは「日本で最も美しい村連合」等について相楽郡・木津川市での和東町の役割は星野リゾートとの関係は

④ 小西 啓議員 (9ページ)

1. 税及び公共料金の収納状況について
平成30年度の各課、現年度分と過年度分の収納状況

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



防災計画の 今後の考え方は

住民の安全で安心な、 体制強化に努める



高山 豊彦 議員

問 の設置が必要。
答 建設事業課長
駐車場の整備や啓発活動、観光客の導線調査など、京都府と連携を取りながら進めたい。

問 奈良交通の路線から離れた地域の移動手段が必要。
答 総務課長
和東町に合致した交通の在り方を引き続き検討していきたい。

問 外出支援サービスの対象者の緩和を。
答 町長
認可事業として課題がある。それ以外の方法を路線協議会などで確立しないといけない。

問 石寺橋の架け替えと併せた交差点改良や道路改修が必要。
答 建設事業課長
財源の確保等、今後努力していきたい。

問 観光客等の安全対策は。
答 地域力推進課長
ホームページや啓発看板などで、交通ルールや農地への進入等、注意喚起を行っている。

問 高齢者等のごみ出しについての考えは。
答 町長
福祉施策など総合的な判断が必要。

問 観光客等の安全対策は。
答 地域力推進課長
ホームページや啓発看板などで、交通ルールや農地への進入等、注意喚起を行っている。

し、修繕を計画している。

問 白栖撰原線の道路整備が必要。
答 建設事業課長
補助事業等も検討し、今後、計画を立てていきたい。

問 一時避難所として、各集会所や公民館の活用は。
答 総務課長
災害の状況も踏まえ地域の協力を求めていきたい。

問 今後の交通政策について町の考えは。
答 町長
奈良交通の路線維持を中

問 今後のインフラ整備等の考えは。
答 建設事業課長
定期的な点検を行い、不確となった施設は、補助事業、交付金事業を活用

問 危険と想定される戸数と人数は。
答 総務課長
土砂災害972戸2972人、浸水災害342戸913人、地震は町内の全戸数と想定している。

問 避難所の選定基準は。
答 総務課長
耐火・準耐火構造で、二階建て以上の危険性の少ない公共施設としている。

問

あらためて水道料金
値上げ中止を求める

答

料金値上げは避けて
通れない

問 料金値上げは住民生活と
営業に深刻な打撃との認識
はあるのか。

答 町長

負担をかけることは認知
しているが現行の水質と安
定供給維持へ理解を得なけ
ればならない。

らに値上げの可能性もある
ならば、町の判断で基準外
の繰入れも検討すべきでは
ないか。

答 建設事業課長

基準外の繰入れは確かに
町の判断だが、町の財源か
ら見出すのは困難であり、
住民負担をお願いしたい。

問 独立採算をさらに強いる
公営企業会計の採用は必須
か。

答 建設事業課長

政令で定められており和
東だけ採用しないことはで
きない。

問 暮らしの現状を踏まえれ
ば値上げは許されない。中
止を求める。

答 町長

水質保持へ料金値上げは
避けられないと認識してい
る。

10月からの消費税増税に
反対を

問

経済や住民生活の現状
は、10月から増税できる環
境と考えるのか。

答 町長

お茶を基幹産業にしてい
る本町にとって厳しい状況
がある。

問 事態を傍観せず増税に反
対し政府に中止要請を。

答 町長

上がらない方向でいけれ
ば良い判断にはなるが「総
合的な判断」に立つ必要も
あり、国は適切な判断をし
てほしい。



岡本 正意 議員

子育て支援の充実を

問

高校生通学補助の速やか
な拡充を

答 町長

バス対策協議会を開き、
10月以降の利用促進対策を
検討する中で議論を深めた
い。

問

町独自の大学生等の奨学
金制度や修学支援制度の拡
充を。

答 町長

国や府の制度との整合性
を図りながら検討してい
く。

問

インフルエンザ予防接種
補助の対象拡充を

答 福祉課長

各医療機関により費用差
もあり引き続き現行で実施
したい。

加齢による難聴者の補聴
器購入補助を

問

身障者手帳がないと公的

な補助が受けられない現状
を変えて、加齢による難聴
者の補聴器購入にも補助
を。

答 町長

府や近隣市町村の動向を
見極め対応したい。

問

加齢性難聴はウツや認知
症の原因になるとの指摘も
ある。高齢化により補聴器
の必要性が増えると考えら
れ、早急に検討を。

答 福祉課長

身障者手帳がない方の補
聴器の必要性をまだ把握も
検討もしていない。さらに
研究していきたい。



問

元号も令和に変わり、
今後の考えは

答

町づくりの方針は変わらず
住民と協働して進める

問

日本で最も美しい村連合
の加盟の条件は。

答 町長

人口が直近で1万人以下
と地域資源が2つ以上ある
こと（景観、観光、文化な
ど）。

問

その理由をもう少しくわ
しく。

答 町長

文化は茶の歴史茶畑景観
基幹産業としての生業の町
づくり。住みやすい、生き
がいのある町づくり。

問

相楽郡、木津川市での本
町の役割は。

答 町長

知事と和東町と星野リゾ
ートの代表で地域づくりの

答 町長

本町は郡・市の東部にあ
る地域で、西部にない町づ
くりを目指している。

問

具体的に東部と西部の違
いは。

答 町長

西部は学術研究都市とし
ての役割。東部は自然豊か
な生業景観をもつ文化が育
む、生きがいの持てる町づ
くり。

問

星野リゾートの関わり
は。

答 町長

知事と和東町と星野リゾ
ートの代表で地域づくりの



岡田 勇 議員

協定を結ぼうというのが協
定の内容である。

問

具体的にそれで和東町の
発展はあるのか。まだ姿が
見えないがどうか。

答 町長

当初、ホテル経営と思っ
ていたが、目的はそうでは
なく、豊かな自然を活かす
景観づくりと施設づくりと
のこと。

問

当初の目的と少し違いが
あるように思うが。

答 町長

目的はあくまで本町の環
境を活かした町づくりであ
り、今はあまり急がない

で、足元を見据えて大事に
進めていく。

問

その方向もまちがいのな
いようにしてほしい。

答 町長

将来の目的はすべての人
が願っている通りと思いま
す。

問

それなら一度立ち止まっ
てはいかがか。急ぐと住民
に、不安と不信を抱
かれる。

答 町長

一度立ち止まっ
て検証する意味も重
く受けとめて、住民
と共に目的に向か
って前進していきま
す。

問

3点の質問は、す
べて本町の最も重要
な未来の町づくり
で、誰が継承するの
か、それには最高責
任者としてどうして

いくのか。

答 町長

今の質問はすべて未来の
町づくりに最も大切な事柄
であります。本町独自の地
域性、文化景観、人間性、
どれをとっても欠かす事の
出来ない事であり、今まで
も、これからも住民一体と
なり、次世代の若者たちが
誇りを持って自分の地域で
働き、暮らし続けられてい
く町づくりを目指していき
たい。



昨年8月に開催された「茶サミット2018in WAZUKA」

問

収納対策について
どう考える

答

公平性の原則を
基本に対応する

問

各課における税及び公共
料金の収納状況は。

答

建設事業課長

平成30年度の未収額が6
月1日現在で128万円、
滞納者総数は89件となっ
ている。

答

税住民課長

過年度分の税について
は、未収額3053万円で
収納率が31.75%。公
共料金が未収額77万円で収
納率が9.5%となる。

答

人権啓発課長

生活更生資金貸付金は平
成14年3月末に制度が廃止
され、未収金は22件で68
3万円となっている。

答

福祉課長

過年度分の介護保険料で

未収額350万円収納率が
14.26%となる。

問

各課における税及び公共
料金の収納状況の報告をど
う考える。

答

町長

去年と比べたら一歩前
進。公共料金の公平性の原
則からも納められるのに納
めないのはいかがなもの
か。分割納付等納めてもら
いやすい手段も検討し更に
努力する。

問

滞納に関して会議や強化
月間を設けたりはしたの
か。



小西 啓 議員

答

建設事業課長

課内会議は開いていない
が、課員一丸となり現年は
99%強の収納率となった。

問

滞納者を訪問した際の時
系列は整理してまとめてい
るのか。

答

建設事業課長

時系列ではないが、随時
課員から報告を受け、表に
してまとめています。平成30
年6月1日現在で158人
の滞納者が69人完納され、
令和元年6月1日現在で89
人となった。

問

町外に在住の方の固定資
産税の滞納はどの様に管理

しているのか。

答

税住民課長

リストで管理している。
督促は町で発送し、その後
の徴収業務は税機構に移管
される。

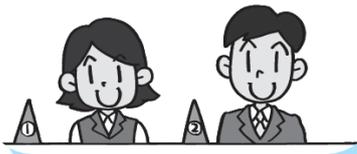
問

生活更生資金貸付金は、
かなり昔のものが残ってい
るようだが。

答

人権啓発課長

借受人の生活実態を聞き
取り、分割等の相談に乗り
徴収に努める。



問

水道料金値上げの話があ
るが、職員、特別職の方が
水道料金を払ってないよう
では値上げ問題に取り組め
ないが問題ないか。

答

建設事業課長

公共料金でもあり滞納さ
れることはないと思う。今
後も滞納が起らないよう
に注意して徴収に当たる。



総務厚生常任委員会

総合保健福祉施設整備
基本構想を策定

委員長 岡田泰正

6月4日に各課における平成30年度の主要事業の成果などについて事務調査を行いました。

平成30年度の決算見込について報告があり一般会計では実質収支は1億2584万円の黒字となり、6特別会計では全て黒字となりました。

続いて各課の平成30年度事業の実施状況等について調査を行い、総務課では、ふるさと応援寄附金の活用先として、「5つの町づくり」を設けているが、今後それぞれの目的に応じた事業を検討される。交通安全事業は、各区からの要望でカーブミラー、

防犯灯を設置した。

奈良交通の運行を委託している補助金も利用者の減少等により、今後利用促進や新たな公共交通のあり方を検討することが課題であると報告された。

住民民課からは、前年度よりも町税が若干増加し、固定資産税は町税の約半分を占めており安定した財源となっており安定した財源となりました。

国民健康保険事業については、特定健診の受診率の向上や糖尿病重症化予防の取り組み等医療費の上昇を抑えることにより保険税上昇の抑制につなげていくと報告がありました。

福祉課では、保健・医療福祉の連携強化を図るため、今後のまちづくりの中核的な機能を担う総合保健福祉施設整備基本構想を策定された。

放課後児童対策事業では、登録人数36人指導員は4人体制で従事している。開設時間は午後6時から30分延長して6時30分までとなりました。

委員からは、路線バス運行維持補助金の対象時間帯や内容、今年発生した火災の消火活動状況、地域防災計画見直しによる防災マップの作成時期、ふるさと応援寄附金返礼品の創意工夫が必要ではないかとの意見がありました。

和東保育園調理師の配置状況は、総合保健福祉施設を整備していく上で医師の確保への対応は、風疹の予防接種と抗体検査取り組みの状況はなど、たぐさんの質疑も行われました。

一部事務組合報告

相楽郡広域事務組合議会

6月3日、第1回臨時会が開催されました。代表理事から①し尿処理業務は前年度比で横ばい傾向②大谷処理場基幹的設備改良事業の業者選定を行い仮契約を締結。循環型社会形成推進交付金約5900万円を活用して実施、との報告がありました。

議長、副議長選挙が行われ、議長に精華町の杉浦正省議員、副議長に和東町の小西啓議員が当選しました。

提案された同意第1号、議案第7号、8号は賛成者全員で可決しました。

相楽中部消防組合議会

6月3日、第1回臨時会が開催されました。

議長、副議長の選挙が行われ、議長に木津川市の山本和延議員、副議長に南山城村の廣尾正男議員が当選しました。また議会運営委員の選任、賞じゅつ金等審査委員、表彰審査委員の選出が行われました。

同意第1号の公平委員会委員の選任では藤木美能里氏を再選し、同意第2号の監査委員の選任では高瀬哲也氏を選任しました。同意第3号の議会選出の監査委員の選任では笠置町の杉岡義信議員を選任しました。

承認第1号の平成30年度一般会計補正予算（専決）は賛成者全員で承認し、山城・東部高規格救急車の購入や火災予防条例の一部改正、はしご車共同運用の連携協約の締結協議も賛成者全員で可決しました。

産業常任委員会

**遅霜等の被害や減収等に
効果的な支援を**

委員長 **吉田哲也**

6月5日に開催し、平成30年度の主要事業について事務調査を行いました。

平成30年度決算見込みは、一般会計・特別会計合わせて実質約2億円の黒字決算との報告がありました。

地域力推進課から、①地方創生推進交付金等を活用し、お試し住宅の「湯船ヴィレッジハウス」を整備し、学生のフィールドワークの受入れや地域住民の交流の場として利用された。②観光案内所では年間6000人超えの来館者があった。③教育旅行受入れに向けたPRパンフレットの作成など観光入込客数の増加を図り、農泊の受入れは27件、登録件数は86軒となり、インバウンド事業では

年間784人を受入れた、等の報告がありました。

農村振興課から、①グリンテイ和東の改修や周辺の駐車場整備を行い、和東茶カフェもリニューアルした。②青年就農給付金事業は、7名に合計975万円を給付した。③野生鳥獣被害対策では、猟友会等に委託しサルやシカ、イノシシ等を捕獲している④相楽消費生活センターへの和東からの相談は年間15件あった、等の報告がありました。

建設事業課から、①町道山口線の拡幅改良工事を施工した②昨年7、9月の台風による農地や道路の被害復旧は次年度に繰り越した③水道使用料の収納状況は、前年度を大きく上回った、との報告がありました。

質疑で各委員から、遅霜被害の状況や具体的な対策、減収への補助など効果的な支援、府道に駐停車し観光客を乗降させている観光バスへの危険防止対策、青年就農給付金制度の事業効果、耕作放棄地の対策の必要性、来年度に予定している水道料金値上げ方針の変更の有無等、多くの質疑が行われました。



急がれる観光客増加への対策

一部事務組合報告

山城病院組合議会

5月24日、第1回臨時会が開催されました。議長・副議長選挙が行われ、議長に木津川市の高味孝之議員が、副議長に和東町の畑武志議員が当選しました。

管理者には木津川市長の河井規子氏が選任され、平成30年度病院事業の決算見込みは、入院患者、外来患者とも前年度比増加となり、黒字決算の見込みとなった。第4次経営計画が新年度からスタートしたと報告がありました。

監査委員の選任について、西井正氏が、議員選出の監査委員には、木津川市の倉克伊議員と笠置町の田中良三議員が、議会運営委員長には木津川市の伊藤紀味枝議員が、副委員長には和東町の岡田泰正議員をそれぞれ選任しました。

相楽東部広域連合議会

6月11日、第1回臨時会が開催されました。専決処分の承認を求めることについて、平成30年度一般会計補正予算(第4号専決)は、歳入歳出それぞれ9063万円を減額され、全員賛成で可決しました。

議長・副議長選挙が行われ、議長に南山城村の廣尾正男議員が、副議長に和東町の岡田勇議員が当選しました。

監査委員の選任について、議員選出の監査委員に笠置町の杉岡義信議員が選任されました。

この他、委員会の構成替えが行われ、各常任委員会、議会運営委員会においてそれぞれの委員長、副委員長を互選により選出しました。

まちの “元気”を 訪ねて

みんなで楽しく爽快感を味わいませんか!

「和東スパークランニングクラブ」

平成31年2月に結成されたスパークランニングクラブの河村さんにお話を伺いました。河村さんは、現在、地域おこし協力隊として、湯船地域でも活躍されています。

Q 地域おこし協力隊として応募されたきっかけは。

A アウトドアやスポーツに携わりながら、和東町に貢献できたらという夢があったので、昨年7月に応募しました。

Q 和東町で活動がしたいと思ったきっかけは。

A 木津川市に住んでいて、10年ぐらい前から、年に数回和東町に来るようになり、町おこし的なことにチャレンジしたいと思い、和東茶カフェや農家さんのお手伝いを始めました。

Q ランニングクラブを立ち上げられたきっかけは。

A 個人的な趣味から、近隣で開催されているマラソン大会を和東町でもやりたいと思いい、活性化センターや雇用促進協議会の仲間たちと、各地のリレーマラソン大会に出ようと練習を始めたのがきっかけです。

Q クラブのメンバーの人数は。

A 現在、同じような世代の男女で親子の参加者を含め、10名程度が参加しています。

Q 日頃はどのような活動をされていますか。

A 週1回、水曜日の午後6時から午後7時まで和東運動公園で走っています。

Q クラブの目標は。

A 和東町で仕事や生活をしている様々な人たちとのつながりを広げながら、お茶とスポーツを通して健康的なイメージをもってもらい、いずれは景観を回るマラソン大会が開催できればと思っています。

Q クラブのPRをどうぞ。

A みんなでおしやべりをしながらゆっくりジョギングをすると、気持ちも前向きになり、体を動かし汗を流すことで爽快感を感じることができます。

町内の多くの人たちと一緒に気持ちのいい汗を流せたらすごくうれしいなと思います。
一緒に楽しく走ってみたい方は、左記、連絡先までご連絡をください。お待ちしております。



連絡先 スパークランニングクラブ 河村
携帯電話 090-9878-11831

取材 岡本正意／高山豊彦

編集後記

元号が平成から令和へと時代は変わっても人々は平和への願い・経済の安定・家庭の安全等を常に望むものです。しかしながら現実には、それとは相反する事に、たびたび見舞われます。予期せぬ震災・災害・世界経済の悪化。不安な事を考え始めたらキリがありません。「備えあれば憂い無し」の例え通り、種々の備えを住民共々、我々も考え・実行していかなければなりません。

明るい未来も近くにあります。府道宇治木屋線のトンネル開通・木津信楽線井平尾地内の道路拡張・マウンテンバイク世界大会の成功に向けて頑張る事。それにより、「茶源郷和東」ここにありを、世界に知っていただく。これからの令和の時代が、おだやかな良き時代となるよう、私たち議員は役割を重く、強く、感じています。
(井上 武津男)

広報編集委員会

- 委員長 岡本正意
- 副委員長 井上武津男
- 委員 高山豊彦
- 委員 畑武志
- 委員 岡田勇

第3回定例会は、9月11日開催予定。傍聴にお越しく下さい。